

平成29年度 横浜市泉区民文化センター 年間事業計画書

平成29年4月1日

1. 施設運営

指定管理者第3期の2年目は、過去11年間の施設運営実績を基盤に、東日本大震災以降に注目された「文化が地域の絆を結ぶ機能」を重視し、地域における文化的なつながり(文化的コモンズ)の形成に寄与すべく、様々な区民の皆様に親しまれる文化施設を目指した施設運営を継続します。また、地域の文化交流拠点としての機能の充実を図り、運営基本方針(「つくる」が連動する出会いと創造の劇場)に基づく取組みを行うことで、区民の皆様のニーズに応えるとともに地域課題解消への具体的対応を行います。

区民文化センターに求められてきた従来の役割(文化活動のための場所の提供、文化芸術に触れる機会の提供、地域人材の育成、文化団体への支援)は基より、誰もが地域社会の一員として参画できる文化活動拠点であるよう、来館者や施設利用者の方々のご意見・ご要望を施設運営に反映させ、区民の方々の意思に則した施設運営と地域文化の振興に努力します。

職員の能力とスキルを研修会や教育指導などを通じて高め、お客様が気持ちよくご利用いただけるように「安全と安心」が担保されるための取組みを継続して行います。各種職員研修の他にも、職員個人レベルでのスキル向上を指導徹底し、お客様に還元します。

「横浜市個人情報保護条例」に基づき、個人情報の取扱いに充分注意した施設運営を行います。また、「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」に基づき、施設内全館禁煙を継続して実施します。

これまでと同様に、年末休業、年始休業を除く休館日(保守点検日)の設定を毎月第3火曜日のみとし、お客様の施設利用可能日数を最大限確保した施設運営を行います。

2. 人員配置と勤務体制

館長	1名	8:45～17:15
責任者(事務・事業・舞台)	3名	13:45～22:15 の2交代制
職員	7名	(休日は月平均約10日)
カルチャースタッフ	3名	8:45～17:15 17:00～21:30 の2交代制

・活動支援事業

- ① 横浜市ジュニア演劇発表会 <共催事業>
- ② 横浜市立中学校演劇発表会 <共催事業>
- ③ 神奈川県私立中学校演劇発表会 <共催事業>
- ④ 横浜市高等学校演劇発表会(中央大会) <共催事業>
- ⑤ 神奈川県湘南地区高等学校演劇発表会 <共催事業>
- ⑥ 横浜市内アマチュア劇団公演 <共催事業>
- ⑦ 泉区美術会絵画展 <共催事業>
- ⑧ 泉区民文化祭 <共催事業>
- ⑨ いずみ紙芝居一座口演会 <共催事業>
- ⑩ 泉区映画祭 <共催事業>
- ⑪ 舞台音楽研究会 <共催事業>
- ⑫ 文化芸術活動や施設利用に関する相談・助言
- ⑬ 活動への広報協力 <広報渉外事業>

・区や施設の特性を活かした事業

- ① みんなのコンサート(市民参加型音楽コンサート)
- ② お笑いふおんて(落語・漫才)
- ③ パフォーミング・アーツ(映像とコンテンポラリー・ダンス)

・次世代育成事業

- ① フォンテ・ピット・ジュニア (ミュージカル・ワークショップと発表会)
- ② 区民企画事業・こども区民企画事業・フォンテサポーター事業
- ③ 横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム

・調査研究事業

- ① プラットフォーム構築事業
- ② コーディネーター育成事業

・広報・プロモーション活動・情報提供事業

- ① 広報渉外(SNS等を含む)事業
- ② ホームページ運営事業
- ③ 施設広報紙(FONTE PRESS・他)運営事業
- ④ テアトルフォンテ友の会運営事業

以上

平成29年度収支予算書（横浜市泉区民文化センター）

（単位：千円）

【収入】

科目	金額	内 訳
指定管理料	102,972	
利用料金収入	13,480	施設利用料・付帯設備利用料
自主事業収入	6,790	チケット収入・参加費収入等
その他収入	570	コピー機使用料・自動販売機売上金、 助成金、他
合計	123,812	

【支出】

科目	金額	内 訳
人件費	54,200	館長、受付事務責任者、自主事業責任者、 舞台管理責任者、職員、カルチャースタッフ、 臨時スタッフ
事務費	3,948	賃借料、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、 什器備品購入費、印刷製本費、研修・諸会費、 手数料、保険料、雑費、
自主事業費	9,500	文化事業費
管理費	25,895	修繕費、設備管理費、舞台設備・その他保守
光熱水費	17,740	電気料金・ガス料金・水道料金
公益費	11,503	管理組合負担金
事務経費	1,026	本部管理運営費
合計	123,812	